

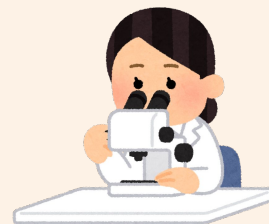
2025年度 SSI（総探）

【第27回】

専門的課題研究中間発表会準備



2026年2月19日（木）



これからの予定（各回のおおよその目標）

12月11日(木) 6限	リサーチクエスションの導出→明確化	
12月18日(木) 6限	仮説を立てる	概要説明
1月 8日(木) 6限	仮説を立てる	
1月29日(木) 6限	仮説の検証方法の検討	スライド準備
2月 5日(木) 6限	仮説の検証方法の検討	↓ 要項発表
2月12日(木) 6限	研究計画書の整理	スライドの完成
2月19日(木) 6限	中間発表の準備	リハーサル
2月26日(木) 5・6限	専門的課題研究中間発表会	

★次回発表★ 今年度SSIの集大成！

2025年度(高校46期)SSI 專門的課題研究中間発表会要項【生徒用】

2026年2月13日(金)第2版 探究科

○発表日時: 2026年2月26日(木) 5・6限 (13:25-15:15)

○重点目標：研究の途中経過の自己点検、発表スキルの向上

○1チームの持ち時間： 7分 = 発表5分（質疑応答なし、入替2分）

タイムテーブル 》

説明・準備	13:25-13:30	
発表Ⅰ	13:30-14:00	①13:30- ②13:37- <調整2分> ③13:46- ④13:53-
休憩・調整	14:00-14:05	
発表Ⅱ	14:05-14:35	⑤14:05- ⑥14:12- <調整2分> ⑦14:21- ⑧14:28-
休憩・調整	14:35-14:40	
発表Ⅲ	14:40-15:15	⑨14:40- ⑩14:47- <調整2分> ⑪14:56- ⑫15:03-
振り返り	15:10-	

タイムテーブル

《 教室割・担当教員 》 8組教室と演習室2が教室変更になりました(2月13日更新)

教室	チーム													
1組	10	A01	A02	A03	A04	A05	A06	A07	A08	A09	A10			
2組	12	B01	B02	B03	B04	B05	B06	B07	B08	B09	B10	B12	B14	
3組	12	C01	C03	C04	C05	C06	C07	C08	C09	C10	C11	C13		
4組	12	D01	D02	D03	D04	D05	D06	D07	D08	D09	D10	D11		
5組	12	B11	B13	B15	C02	C13	E09	E10	F02	F09	G03	G04		
6組	12	E01	E02	E04	E05	E06	E07	E08	E11	E12	E13	E14	E15	
7組	12	F01	F03	F04	F05	F06	F07	F08	F10	F11	F12	F13	F14	
8組	12	K01	K02	K03	K04	K05	K06	K07	K08	K09	E03	H01	H14	
物理	12	H02	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09	H10	H11	H12	H13	
生物	12	J01	J02	J03	J04	J05	J06	J07	J08	J09	J10	J11	J12	
演習室2	12	G02	G04	G05	G06	G07	G09	G10	G11	I01	I02	I03	I04	

評價項目

当日の教室

○発表内容、スライド構成：タイトルスライドを入れて4枚以上で作成。デザインは自由。

	発表内容	説明すること	ブレ研究計画書	メソッド
1	研究テーマ	研究テーマについて、分かりやすく説明する。	(1)研究テーマ	p.142 ①
2	研究背景	リサーチクエスションの背景や仮説の根拠となっている事実を述べる。	(2)研究背景	p.142 ③
3	リサーチクエスション	何がまだ答えの明らかになっていないのかを、自分たちが何を解決したいのかを明確に説明する。	(3)研究目的 ①リサーチクエスション ②リサーチクエスションの意義	p.143 ④⑤
4	仮説と検証方法	仮説の根拠を現在明らかになっている事実をもとに、論理的に説明する。	(3)研究目的 ③仮説 (4)研究方法	p.143 ⑥

※  スライドチェックリスト.pdfをよく確認して作成を行う。

○相互評価・自己評価

- 相互評価フォーム 発表者を評価。発表が終わることに送信。2月26日(木)当日締切。
- 自己評価フォーム 自身の発表を振り返り、自己評価を行う。欠席者も送信。3月4日(木)締切。

今回は下記8観点のうち、評価項目2,3,6,7の4点に絞る。

点目標1 研究の途中経過の自己点検(項目2,3) → 整理とフィードバックによる研究の質の向上

点目標2 発表スキルの向上(項目6,7) → 発表の仕方も含め、総合的なプレゼンテーション技術向上

2. 課題の背景と意義の理解 レベル4 (卓越している) 知的的好奇心と社会背景が結びつき、 多角的根拠で意義を示す レベル3 (十分できている) 意義の説明であるが、 自身の問題意識との結びがりが不十分 レベル2 (概ねできている) 意義の説明が抽象的で、 なぜ自分を取り組むのが不明瞭 レベル1 (説明を要する) 研究の意義や問題意識に至った背景が 説明不明  社会に関かた姿勢  未知への好奇心	3. 問いと仮説の適切性 レベル4 (卓越している) 先行研究をきき本質を捉えた 独創的で検証可能な仮説を設定 レベル3 (十分できている) 検証可能な仮説はあるが、 先行研究調査や独創性に課題あり レベル2 (概ねできている) 仮説はあるが論理的根拠が弱く、 検証方法が不明確 レベル1 (説明を要する) 検証可能な仮説として具体化されず、 研究の軸が不明確  仮説構築力
7. 視覚的表現のデザイン性 レベル4 (卓越している) 図表・配色を密緻に設計し、 要点を強調して説得力を高める レベル3 (十分できている) 意図を用いて整理されているが、 重要情報の強調が不十分 レベル2 (概ねできている) 図表はあるが配置や情報量の調整が 不適切で理解しにくい レベル1 (説明を要する) 文字中心の構成で視覚的工夫がなく、 理解を妨げている  表現力  情報活用能力	6. 発表の明確性 レベル4 (卓越している) 聞き手を常に意識し、 言葉・声・視覚まで工夫した対話的発表 レベル3 (十分できている) 流れは分かりやすいが表現が單調で、 聞き手への工夫不足 レベル2 (概ねできている) 原稿に沿って説明するが、 聞き手を意識せず一方的 レベル1 (説明を要する) 資料を読むのみで声量不足等もあり、 内容が伝わらない  表現力

本日の活動 リハーサル(原稿準備・スライド調整)

Step1

発表原稿を読んで**時間を計って**みよう。

Step2

実際にスライドを使い、ジェスチャーも入れながら話して
時間を計ってみよう。

Step3

時間の過不足があれば、スライドや発表原稿を修正しよう。

Step4

視線を落とし続けないよう、
できるだけ原稿から目を離して話せるように練習をしよう。

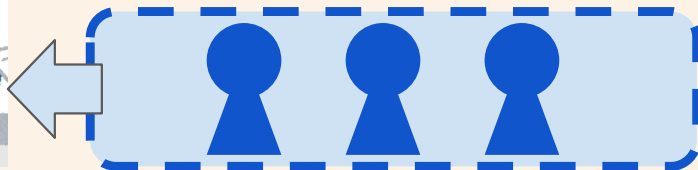
リハーサルの進め方（原則）

自分の情報端末でスライドを送りながら、
本番の発表で話すように**実際に声を出して**練習してみよう。

2チーム(or 3チーム)で、お互いの発表を聞き合い、
相互に改善できそうな点を**建設的な観点**で伝え合おう！



発表するチーム



聞き手のチーム

リハーサルの進め方（オプション）

実際に、プロジェクターでスライドをホワイトボードに投影して、練習することもできます。実質、確認作業です。

＊この練習が必要なチームは教室の先生に申し出てください。

【練習のポイント】

- 実際の**立ち位置**や**視線の向け方**を意識しましょう。
- 実際の**スライドの送り方**を確認し、発表でタイムロスが発生しないようにしてください。

